

東京都知事 小池百合子 殿

武蔵野・三鷹両市への保健所設置、PCR検査の拡充等を求める要望

武蔵野市及び三鷹市を担当している多摩府中保健所は、6市104万人を超えるという、東京都内で最も多い人口をかかえ、新型コロナで「なかなか電話が繋がらなかった」という事態となり、東京で最も「都民から遠い」保健所となっています。

三鷹保健所と武蔵野保健所は、1997年に三鷹武蔵野保健所に統合、2004年市民の反対を押し切って府中に統合されました。現在、武蔵野市に「保健所前」バス停はあっても、保健所そのものではなく、業務の限られた「地域センター」であり、医師・保健師は常駐せず、感染症対策の役割をもっていません。三鷹市も武蔵野市でも市内に保健所がないために、PCR検査センターを設置するのに時間がかかりました。

緊急事態宣言の解除に伴う経済・社会活動の拡大により、東京都内では、新型コロナウイルス感染者数が再び急増し始めています。市中感染が広がっている疑いが強くなっているもとで、感染の早期発見・保護・治療を行い、感染拡大防止のためにはPCR検査の抜本的拡充がただちに必要です。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために要を担っている保健所が、その役割にふさわしい体制の拡充が強く求められています。

そこで、次の通り要望します。

【要望項目】

- 1、武蔵野・三鷹両市に保健所を設置すること。当面、「三鷹武蔵野保健所」を復活させること。
- 2、医師と保健師・職員を増員し、保健所業務の拡充を図ること。
- 3、検査対象者の拡大、検査センターへの財政支援強化など、PCR検査を抜本的に拡充すること。
- 4、医療機関への経済的支援をはじめ、保健・医療体制の抜本的強化を都として図り、政府に対して充実への政策転換を強く求めること。

年 月 日

氏 名	住 所

【呼びかけ】日本共産党武蔵野三鷹地区委員会

〒180-0006 武蔵野市中町1-39-11 電話 0422-53-1611